

舟入探究日誌 第9号 (11月14日)

今回はMが担当します(。^)

僕は今タコの養殖について探究しています

その中で前回のABLE timeでは尾道でタコの養殖研究をしている大学の教授の方にお話を聞くことで大きな進展を得ることができました！（やったー！）

今までは、文献調査がほとんどでそれなりに分かることもありますが実際に実験をしている訳ではなかったのでも生の声はあまり聞けませんでした。そこで今回、教授にわからない事を沢山質問していきました。

お話を聞く中で教授の研究の中で稚だこを大量に生き残らせる事には**成功**したそうです！

そこで現段階で養殖の課題となっているのは稚だこを成体まで持っていく過程においてタコが肉食であり吸盤を持っている事で共食い水槽からの逃げ出す事らしいです。共食いを防ぐ為には個別の水槽に入れる事が1番なのですがそれではコストがとてにかかってしまうし、水槽の掃除や給餌が大変になってしまう為養殖に向けて現実的ではありません。また、逃げ出しを防ぐには水槽を閉じてしまうといいのですがそれでは水換えや飼育作業が困難になる為難しいという事でした。そのため、作業の自動化も望ましいとのことでした。またタコくんは実はグルメで人間世界では価値の高いエビやカニを好んで食べるのでエサのコストも問題でした。そして現段階で自然のタコが何を食べているかがあまり明確になっていないという事なのでそれを発見する事も大きな手掛かりになるかもしれません。

つまり今の解決すべき課題をまとめると

- 集団飼育において共食いを防ぐ方法を考える
- 閉じ込めた水槽で飼育作業の時だけ開く水槽を開発する
- 飼育作業の自動化
- よりコスパ・栄養価の高いエサの発見

他にも倫理的な課題など様々な問題がありますが日本で養殖を事業として行うための課題は上記の4つが主な課題となっていると思います。そこで僕たちは、実際に実験をできる訳ではないのですが思いついた事をグループで議論していいアイデアがあれば教授の方に確認してもらい実験を行ってもらえる事もできます。実際にお話を聞く中でいくつか案を**提案**する事もできました！

また、教授にはここに書いてある事以外のタコについての知識も沢山教えてもらい更にタコを知りたくなる本当に有意義なタコ会議になりました。本当にありがとうございました。まだまだ養殖実現には遠く私達ができる事はいくらでもあると思います。まだまだ**探究に終わりはありません！**

これからも僕が日本でタコを安く美味しく食べる為に探究を続けていこうと思います！！ 今回の探究日誌はこれで終わりです。ありがとうございました！！

たーんQ!